

財務省解体デモ

財務省前の「財務省解体デモ」は2月中旬から行われ、SNSやネットでその実態を見ることができる。故森永氏の著書によると、財務省を財務真理教と揶揄し多くの人々がそのカルト教団に洗脳されているとしている。

税金を上げた方がいいのか消費税を廃止するのがいいのかについて、私は判断材料・知識を持っていないので分からない。しかし、私は財務省の主張することの中で一つ絶対におかしいと思うことがある。それは「日本の財政が極めて緊迫している」ということである。

通常、会社の経営状態を借金のみ提示してこの会社は危ないとは判断しない。同時に資産も提示して併せて判断する。ここに財務省の説明に嘘があるのは明確である。この説明を信じて騙されている政治家も多くいる。加えて自国の通貨発行権のないギリシャと発行券のある日本とは同じではない。そして国の収入は所得税や法人税からの一般会計だけでなく、特別会計もあるのである。

その財務省前の「財務省解体デモ」は1ヶ月経ってやっと一部のマスコミで報道された。ジャニーズや兵庫県知事斉藤さんでの報道に関して、大手マスコミやテレビは大反省したはずなのに、同じような報道になったということはよほど財務省からの圧力は大きいのだろう。財務省は間違った情報を意図的に流すなど改善すべきところきわめて多々あるが、まずは国税庁を独立させてほしい。多くの会社（人）がごくわずかな納税不正についての報復を怖がり意見をいえないと思われるからである。

2025. 3. 15